

対ウクライナ支援概要

平成30年2月
在ウクライナ日本国大使館

1. 有償資金協力:1,690 億円

ボリスポリ国際空港拡張計画 190.9 億円	キエフ・ボリスポリ空港ターミナル D の改修・拡張工事 (2004)
経済改革開発政策借款 400 億円	財政再建のための資金供与(2014, 2015)
ボルトニッチ下水処理場改修計画 1,100 億円	ボルトニッチ下水処理場の改修(2015)

2. 無償資金協力:98 億円

一般プロジェクト無償資金協力 17.7 億円	・オフマディット小児専門病院への医療機材供与(2001) ・中部・東部地域の小児病院への医療機材供与(2006, 2007, 2014)
ノン・プロジェクト無償資金協力 16.5 億円	・中小企業への生産機材供与(2005) ・チェルノブイリ原子力発電所事故被災者等の支援のため の医療機材供与(2013) ・東部復興支援のための機材供与(2015)
草の根・無償資金協力 8.8 億円	医療機材供与及び学校の改修等(全 122 件)
文化無償資金協力 4.9 億円	オペラ・バレエ劇場, 博物館, 芸術学校, 音楽学校等の 改修・機材供与等(全 11 件)
緊急無償資金協力 0.9 億円	・西部地域供水に際する支援(1998, 2008) ・国内避難民の人道状況改善のための支援(2014)
国際機関を通じた支援 49.1 億円	・OSCE・欧州評議会を通じた民主化・国内避難民支援 (2014, 2015, 2017) ・UNDP, UNICEF, UNHCR, UNOPS, WFP, OCHA, IOM, ICRC, IFRC, WHO を通じた東部復興支援(2014, 2015, 2016, 2017, 2018)

3. 金融支援:580 億円

アンタイドローン及び輸出信用(1995):200 億円
輸出クレジットライン設定(2011):80 億円
日本貿易保険(NEXI)によるクレジット・ラインの設定(2014):300 億円

4. グリーン投資スキーム(GIS)

・警察車両として、燃費効率の優れた日本のハイブリッド車 1,568 台を導入
・ウクライナにある学校・病院等の公共施設(374 施設)の窓枠、壁及び屋根の断熱性の向上
・キエフ・メトロの車両 135 両を電力消費効率の優れた日本技術によって更新

5. チェルノブイリ・核不拡散関連支援:219 億円

チェルノブイリ・シェルター基金 117.3 億円	チェルノブイリ原子力発電所における新シェルター建設等
原子力安全基金 53.1 億円	チェルノブイリ原子力発電所の使用済み燃料中間貯蔵施設の建設等
非核化支援協力 21 億円	核物質の防護・管理等
人道支援 27 億円	チェルノブイリ原子力発電所事故の被災者への医薬品・医療機器の供与等

6. 技術協力等:79 億円

JICA 実証事業/NEDO 事業実施可能性調査 25 億円	・ハルキウ州熱供給公社へのバイオマス・エネルギー施設の導入(2015) ・キエフ市熱電併給施設高効率化支援(FS)(2015) ・キエフ・メトロ省エネルギー事業(FS)(2015)
世界銀行日本信託基金 14 億円	・コミュニティベースの社会サービス提供プロジェクト(2018-) ・最貧困コミュニティのためのキャパシティ・ビルディング(2005)等
日本・EBRD 協力基金による技術協力支援 7 億円	・アフリカ豚コレラに対するリスク軽減等 (2014-) ・再生可能エネルギーの投資プロジェクト支援 (2015-)等
JICA 技術協力(33.3 億円, 2017 年 3 月現在) ・研修員受け入れ:752 名, 調査団派遣:458 名, 専門家派遣:80 名 ・公共放送組織体制強化プロジェクト(2017-2019) ・空間情報統合プロジェクト(2015-2017) ・ウクライナ財務省に対する専門家(財務大臣アドバイザー)派遣(2015-) ・ウクライナ・日本センター(2006-2011)	

合計:3,086 億円

(※ 1ドル=100円, 1ユーロ=140円で算出)